



★☆☆☆☆ TYCメールマガジン ★☆☆☆☆

第35号 平成28年5月30日

富士山が見える「内浦湾」から会員の皆さんにホットな情報をお伝えします。

※このメールマガジンが不要の方は、件名に「不要」とご記入頂き、このままご返信下さい。
メールアドレスを変更したときは、新しいアドレスを登録してください。

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

■UR前半戦の最終レース開催

5月22日に開催しました。

当日は、天候に恵まれて気持ちのいいレースが展開されました。前半戦の表彰式とパーティーもありました。

またレース委員長から、下記のコメントが発表されました。

内浦湾レガッタ前半戦エントリーの皆様、22日実施の前半第5戦にて前半戦の予定を無事終了することが出来ました。皆様の御協力に感謝申し上げます。

最終戦の成績ですが、足保マークを TRUBLU に続き回航した MIWA に対して別のマークを回航した後続艇から“回航したマークが違う！”と抗議がありました。

この件につきまして、後続の MERUAMI の林会長と SANLUCK の森が確認していたため DNF としました。固定ブイで判断に迷うマークではありますが、ご理解願います。

最終成績につきましてはホームページにて確認願います。

◎前半戦優勝は A クラス SANLUCK、B クラス INFINI。

今回 A クラスは最終戦まで 4 艇がもつれ込み、面白い展開が見られました。

B クラスは MERUAMI の A,B 両クラス制覇かに見えましたが、先月までを 2、2、1、とまとめた INFINI が最終戦をノンエントリーながらの優勝でした。

皆様 後半戦も宜しくお願い致します。

又、UR は面白くなってきました。後半戦を新たにエントリーする皆様をお待ちしています。

TYC レース委員 森



URクラスA 2016年前期総合成績

総合	S-No.	BOAT NAME	TYPE	TCF	1月戦		2月戦		3月戦		4月戦		5月戦		POINT 合計	出艇 回数
					出艇数 0		出艇数 5		出艇数 5		出艇数 7		出艇数 4			
					F. POS	POINT	F. POS	POINT	F. POS	POINT	F. POS	POINT	F. POS	POINT		
優勝	5813	SUN LUCK	JV 9.6	1.008		5	6	2	9	3	8	2	9	32.0	4	
2	6672	SELFISH GIRL	SunFast32	1.002	ノ	3	8	5	6	2	9	4	7	30.0	4	
3	6528	PERSIAN	FARR 31	1.029	レ	4	7	1	10	6	5	3	8	30.0	4	
4	6478	ELFIN	X35	1.047	レ			3	8	1	10	1	10	28.0	3	
5	6383	MIWA	SYDNY 36	1.046	レ	1	10	(CMT)4	8.4	7	4	DNF	1	23.4	4	
6	6506	TRUBLU 8	sumit35	1.066	ス	2	9			4	7	DNF	1	17.0	3	
7	6156	OHIO	JV 9.6	1.008						5	6	CMT	8.8	14.8	2	
8	6555	SHOKAKUBO	SEAM33CR	1.033												
9	6366	SEIUN V	First40.7	1.069												

URクラスB 2016年前期総合成績

総合	S-No.	BOAT NAME	TYPE	TCF	1月戦		2月戦		3月戦		4月戦		5月戦		POINT 合計	出艇 回数
					出艇数 0		出艇数 6		出艇数 3		出艇数 3		出艇数 2			
					F. POS	POINT										
優勝	4058	[INFIN]	Yok 29	0.869		2	9	2	9	1	10			28.0	3	
2	4333	MERAM	Swing31	0.946	ノ	1	10			3	8	1	10	28.0	3	
3	4233	OZZA	Aukret26	0.858	レ	4	7	1	10	DNF	1	2	9	27.0	4	
4	1800	TENTOMUSI	Y31 S	0.954	レ			CMT	7.7	3	8			15.7	2	
5	3932	LE SOLEIL 3	Y30 S2	0.879	レ	5	6			2	9			15.0	2	
6	4454	ZEPHYR 2	DEH 36	0.969	ス	6	5			CMT	7.6			12.6	2	

■ヘダ号再建プロジェクト会が発足 2016.04.23

下田港に停泊していたロシアのプチャーチン率いる艦船ディアナ号。

安政の大地震の津波により壊れ、修理のため戸田へ向かう途中、嵐で沈没してしまいます。

乗組員500人全員を救出し、新しい船を再建することになりました。そしてプチャーチンは、完成した船に感謝の意を込めてヘダ号と名付けました。

戸田村の船大工は日本人初の洋式帆船建造の技術を修得し、その技術を全国に展開し、日本の海運業の先駆けとなる下田にも縁深いエピソードです。

そのヘダ号再建の夢のようなプロジェクトです。4月23日に発足式が行われ、80人くらいの方が集まった。伊豆の国市の小野市長、国会議員・県会議員・市議の方もたくさんの沼津市、三島市の議員さんほか、企業の方や経営者、事業者の方、趣旨に賛成してくれた市民の皆さんはじめ、多くの方が出席した。また、終わってからも、多くの皆さんが興奮さめやらず、会場から出ていかない。そこで、立ち話がずっと続く状態。これは期待が大きいなと思った。

ヘダ号再建により、日本を代表する海「駿河湾」の観光・経済、そして未来を担う子供達の海洋教育を通じて、地域の活性化を目指して行きますので、これからどうぞ宜しくお願い致します。

一部の人の利益のためでなく、沼津だけでなく地域全体のために、また、もっと大きな（日露）ことにも関わる。今年は、ロシアとの関係をみんなで考え直す時期にもなることもあり、みんなで、大きな目標に向かって取り組んで行ければいい。ぜひ、多くの方が参加してほしいと思っています。

後藤会長「調べてみると、これは沼津の宝でなく日本の宝だと感じた。伊豆半島全体を元気にするきっかけに、市民参加でヘダ号を再建したい。」

第3回「ヘダ号再建プロジェクト会」会議

夢の実現に向け一歩ずつ着実に進んでいます。運営員をはじめ各委員会も始動。このあと会員の募集も始まります。

Web ページ、Facebook ページも間もなくオープンです！

「Facebook ページ」「Web サイト」 近日公開です！

皆さん『ヘダ号再建プロジェクト』にご期待下さい。



波乱と激動の嘉永七年

- | | |
|---|--|
| <p>1月16日 ベリー艦隊再び浦賀へ来航、軍艦七隻にて</p> <p>3月 3日 幕府はベリーと日米和親条約を調印</p> <p>21日 ベリー下田に入港</p> <p>22日 プチャーチンは軍艦三隻を率いて、長崎に再来航する</p> <p>24日 下田に奉行所を置く</p> <p>27日 吉田松徳、ベリー艦隊のボヘタン号に乗り込み、乗船を拒否され、密航に失敗し、自首して逮捕される</p> <p>28日 プチャーチンは長崎を去る</p> <p>5月12日 ベリーは横濱条約の細則協定の会談を下田の了軸寺にて行う</p> <p>6月 2日 ベリーは下田を出港する</p> <p>30日 幕府は函館に奉行所を置く</p> <p>7月15日 英国は四隻の艦隊を率いて、長崎に入港し和親条約を締結</p> <p>8月30日 プチャーチンはディアナ号で函館に入港し、文書提出</p> <p>9月 8日 ディアナ号函館を出港して大阪に向う</p> <p>17日 ディアナ号大阪天保山沖に現れる 大阪城代に交渉申し出る 幕府は下田で交渉すると回答</p> <p>19日 ディアナ号の警備に郡山藩、香川藩、などの藩が出動</p> <p>10月 3日 ディアナ号大阪湾を出港</p> <p>5日 ディアナ号下田に向って航行</p> <p>15日 ディアナ号下田に到着 プチャーチン下田奉行所に行く</p> <p>23日 川路聖謨と岡井政憲ら下田に到着</p> <p>11月 3日 福泉寺で日露修好条約調印の会談を開く</p> <p>4日 九時半頃 東海地方に大地震発生、津波来襲、下田領域 ディアナ号破損、水兵一名圧死 重山で反射が一帯が竣工(江川太郎左衛門英龍により)</p> <p>5日 長楽寺でディアナ号の修理について会談</p> <p>13日 玉泉寺にて第二回会談、またディアナ号の修理地を協議</p> <p>14日 玉泉寺にて第三回会談</p> <p>16日 プチャーチンに幕府から、見舞品届く</p> <p>18日 江川太郎左衛門英龍、下田取締役に任命される</p> | <p>11月18日 江川は早速 川路聖謨とディアナ号の修理地を協議</p> <p>23日 ディアナ号の修理地は戸田に決定</p> <p>26日 戸田に向ってディアナ号は下田を出港</p> <p>安政 27日 年号、安政となる ディアナ号の村松船、原一本船に漂着 ディアナ号、富士宮島村三四軒屋沖に漂着、投錨停泊</p> <p>28日 プチャーチン以下、ロシア兵全員、宮島村に上陸</p> <p>29日 江川、船根の山中にてディアナ号の座敷の急報を受けて宮島に急行し名主たちに、食料や小屋修繕の手配を命じる</p> <p>12月 1日 プチャーチンはディアナ号の戸田への小船による曳航を提案</p> <p>2日 ディアナ号を漁船百数十艘で曳航し3時間かけ約5里進んだ 天候急変し曳航漁船、元綱を切断し一斉退去ディアナ号曳役 プチャーチンの船、江浦に漂着、照江寺に一直</p> <p>6日 ロシア兵は二隊に分かれて陸路を徒歩にて戸田に向う</p> <p>7日 残り全員、戸田に向う、沼津藩士 山崎嘉次はこの時のロシア兵と見物に集まった群衆や警備の沼津藩士 小田原藩士などの船を請いている(明治史料館所蔵)</p> <p>6日 江川太郎左衛門英龍 代船建造の取締役に指名される</p> <p>8日 ロシア兵全員、戸田に到着 幹部と土官は宝泉寺と本善寺に他の兵は江川と水野の計いによる、四棟の長屋に居住した</p> <p>11日 戸田にいた江川に幕府より出府命令 重山に帰るも病床に</p> <p>13日 再三の出府命令に吹雪の節候を鑑て江戸に向う 病状悪化</p> <p>14日 長楽寺にて第四回会談</p> <p>15日 長楽寺にて第五回会談</p> <p>21日 長楽寺にて日露和親条約締結</p> <p>24日 戸田にて代船の建造始まる</p> <p>1月16日 (安政二年)江川太郎左衛門英龍 江戸病歿にて死去</p> <p>22日 棺に納められた江川の遺体は重山に向った 享年55歳</p> <p>3月10日 代船「戸田号」進水式 試乗</p> <p>22日 戸田号に乗りプチャーチン戸田を出発 帰国の途につく 50名 その後2回に分けて全員が帰国</p> |
|---|--|

<FaceBook より引用>

■子供たちにライフジャケットを！！

毎年「ライフジャケット」を着ていれば防げたはずの事故が起こってしまっていることは事実です。

だから「ライフジャケット」があたりまえになるように伝えることができれば、悲しい事故を防ぐことができるはず・・・伝えることで、大切な命を守ることはで・・・と信じています。

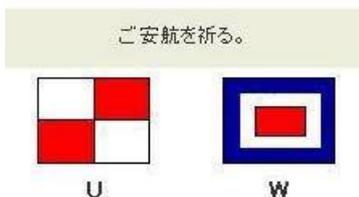
思いはただ1つ・・・子どもたちの命を守ること。「子どもたちにライフジャケットを！」

<http://life-jacket.dancing-monkey.net/>



■UW！！

今年も、全艇の安全な航海を祈っております。



-----情報-----

みなさんの家族・友人・知人でのクルージングの情報を、待っています。

発信者：TYC IT委員会 臼井洋一郎

多比トットクラブ

沼津市多比 1-130

Tel: [055-939-1881](tel:055-939-1881)

HP: <http://www.tabi-yc.com>

e-mail: ja2ges@tabi-yc.com

発信者：臼井洋一郎

417-0045 富士市錦町 1-3-3-702

自宅 0545-52-0888 携帯 090-3158-1411

e-mail: ja2ges@mail.wbs.ne.jp